

# JIMT OF 2012(第 26 回日本国際工作機械見本市) 参加報告

三重大学 工学部・工学研究科 技術部 実験実習工場・支援グループ

○鈴木義和, 中川浩希, 上野素裕

suzumori@mach.mie-u.ac.jp

## 1.はじめに

平成 24 年 11 月 1 日～11 月 6 日に東京ビックサイトにおいて、JIMT OF 2012(第 26 回日本国際工作機械見本市)が開催され、11 月 1 日～11 月 2 日の 2 日間、実験実習工場・支援グループより 3 名が参加したので以下の報告をする。

## 2.目的

参加目的を以下に示す。

- ・最新の工作機械を視る事で、現在主流の機械加工を知る。
- ・今後の委託作業に活用すべく、最新鋭の工具の調査を行う。
- ・今後の仕事に活かす為、出展メーカーの方と談話して自らの知識の幅を広げる。

## 3.参加を終えて

初日の午前中は、工具を中心に「超硬工具」「特殊鋼工具」「工作機器」を調査した。ステンレス等の難削材で加工を行う場合や工具の特性等について談話を行った。午後からは、実験実習工場では加工する事の無い大きい材料を加工する大型の機械や 5 軸制御の NC 機等の工作機械の見学を行った。また、それらの機械を使用して作った加工品等を見る事が出来た。

2 日目は、初日に見る事が出来なかった工作機械の見学から始めた。そこで、以前よりお世話になっている三菱電機グループメルダスシステムエンジニアリング(株)の担当者の方と談話し、“今の機械加工について”様々な話が出来た。午後からは、CBN 工具等の工具や測定機器についての調査を行った。機械加工においては寸法精度を重視する。測定が困難な形状があり、それらに対応できる測定機器があった。

また、我々は時間の都合上参加できなかったが、第 26 回日本国際工作機械見本市では講演やポスターセッションを行っている場所や「匠の技」と表して日本製の工作機械で製作した品の展示スペースがあった。

この 2 日間で当初の目的は達成できたと思う。工具や工作機械の出展メーカーの方と話をして様々な知識を得る事が出来たと思う。今後、得た知識を上手く活用して委託業務に努めたい。

